

<h2>1 総人口</h2> <p>◎前年比 -1.0% 20年連続減</p> <p>◎震災前比 H29=92.7 (H22=100.0)</p> <p>○国勢調査の結果（平成22年と平成27年）を比較すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。 ○平成31年1月1日時点の推計人口は1,859,220人となった。</p>	<p>基準：各年10月1日現在 出典：H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p> <p>(人) 2,500,000 2,000,000 1,500,000 1,000,000 500,000 0</p> <p>人口数 増減率 (前年比：%)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h2>2 人口の移動状況(社会動態)</h2> <p>◎前年比 転入 -3.6% 転出 +4.5% 2年連続転出超過拡大</p> <p>◎震災前比 転入 H29= 99.5 転出 H29= 101.8 (H22=100.0)</p> <p>○震災時に大規模な人口流出が生じ、平成24年以降は転出超過の縮小が続いていたが、平成28年から2年連続で転出超過が拡大している。 ○平成29年は前年より転入者が3.6%減少、転出者が4.5%増加し、転出超過が前年よりさらに拡大した。</p>	<p>基準：各年1月1日から12月31日までの計 出典：県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」</p> <p>(人) 40,000 20,000 0 ↑転入 ↓転出 Δ 20,000 Δ 40,000 Δ 60,000</p> <p>転出 転入</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h2>3 合計特殊出生率</h2> <p>◎前年比 -0.02ポイント 2年振り減</p> <p>◎震災前比 +0.05ポイント (H22=1.52)</p> <p>○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復している。 ○平成29年は前年から0.02ポイント下降し、2年振りの減少となったが、全国を上回って推移している。</p>	<p>基準：年 出典：厚生労働省「人口動態統計月報年計(概数)」</p> <p>(合計特殊出生率)</p> <p>1.60 1.50 1.40 1.30 1.20</p> <p>全国 福島県</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h2>4 地域別最低賃金 New!</h2> <p>◎前年度比 +3.2% 15年連続増</p> <p>◎震災前比 H29=117.5 (H22=100.0)</p> <p>○本県の平成30年度の最低賃金改定額は前年度から24円上昇し、772円となった。 ○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大の引上げ幅となったが、全国加重平均額である874円は下回っている。</p>	<p>基準：年度 出典：厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」</p> <p>(円) ※時給 (前年度比：%) 800 750 700 650 600</p> <p>657 772</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>
<h2>5 学校給食の地場産物活用状況 New!</h2> <p>◎前年度比 +5.2ポイント 6年連続増</p> <p>◎震災前比 H30=113.0 (H22=100.0)</p> <p>○本県の学校給食における地場産物の活用割合は、6年連続で増加している。 ○平成30年度については、震災前の水準を上回る40.8%となった。</p>	<p>基準：年度 出典：県健康教育課「学校給食における地場産物の活用状況調査結果」 ※平成23年度は東日本大震災の影響により福島県での調査未実施</p> <p>(%) 50.00 40.00 30.00 20.00 10.00 0.00</p> <p>H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30</p>

<変化方向について>
 緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。
 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<h3>6 全国新酒鑑評会結果 (順位・金賞受賞数)</h3> <p>◎前年度順位比 H28 → H29 1位 → 1位 6年連続日本一(史上初)</p> <p>◎震災前比 H29=1位 (H21=1位)</p> <p>○平成29酒造年度の本県産日本酒の金賞受賞数は19点であった。 ○金賞受賞数は史上初となる6年連続日本一を達成し、本県の酒づくりは高い評価を受けている。</p>	<p>基準:酒造年度(7月1日~翌年6月30日) 出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒鑑評会審査結果」</p> <p>(点) (順位)</p> <p>金賞受賞数(左軸) 順位(右軸)</p> <p>H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h3>7 福島空港利用状況</h3> <p>◎前年度比 +5.5% 3年振り増</p> <p>◎震災前比 H29=90.7 (H22=100.0)</p> <p>○平成29年度の国内線及び国際線は、震災後としては、搭乗者数が過去最高となり、前年度に比べ5.5%上昇した。</p>	<p>基準:年度 出典:県空港交流課「福島空港利用状況」</p> <p>(人) (前年比:%)</p> <p>国内線 国際線</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h3>8 観光客入込数</h3> <p>◎前年比 +3.3% 3年連続増</p> <p>◎震災前比 H29=95.3 (H22=100.0)</p> <p>○震災後としては、平成27年以降、3年連続で5,000万人を超えている。 ○平成26年を除いては、前年を上回る推移を見せ、ゆるやかな増加傾向にある。</p>	<p>基準:年 出典:県観光交流課「福島県観光客入込状況(延べ人数)」</p> <p>(千人)</p> <p>入込数</p> <p>H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h3>9 外国人宿泊者数</h3> <p>New!</p> <p>◎前年比 +65.2% 6年連続増</p> <p>◎震災前比 H29=149.5 (H22=100.0)</p> <p>○本県における外国人宿泊者数は、震災後以降、6年連続で増加している。 ○平成29年については、震災後初めて、震災前の水準を上回る130,300人泊となった。</p>	<p>基準:年 出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」</p> <p>(人泊)</p> <p>H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>
<h3>10 教育旅行宿泊延べ人数</h3> <p>New!</p> <p>◎前年比 12.1% 6年連続増</p> <p>◎震災前比 H29=68.8 (H21=100.0)</p> <p>○平成29年度の教育旅行宿泊延べ人数は、488,298人泊であり、6年連続の増加となった。 ○近年は、観光入込数とともに教育旅行宿泊延べ人数が回復傾向にあり、今後さらなる伸びを期待したい。</p>	<p>基準:年度 出典:県観光交流課「福島県教育旅行入込調査報告書」</p> <p>(人泊)</p> <p>延べ宿泊者数</p> <p>H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29</p>

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。